

平成22年度 一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費  
 1 項 商業費  
 2 目 商業振興費

市場開拓室 (内線: 7 8 3 2)  
 (単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
食のみやこ推進事業 (鳥取県東京アンテナショップ機能強化事業)	(76,563) 61,435	(72,481) 66,543	(4,082) △5,108			(37,558) 22,430 <雑入>	(39,005) 39,005	
トータルコスト	68,696千円 (前年度 84,770千円) [正職員: 0.9人]							
主な業務内容	アンテナショップ運営事業者との連絡調整・協議、商品のマッチングなど							
工程表の政策目標(指標)	常設の情報受発信施設の設置、運営							

※ ( ) はふるさと雇用再生特別交付金事業計上分を含む額

説明

1 事業の概要

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の機能(情報受発信・販路開拓)の強化及び店舗の魅力向上を図るための事業を行う。

2 事業内容

区分	内 容	金額(千円)
情報受発信	○催事出展者に対する旅費支援 出展事業者(生産加工グループ等)への旅費相当額の1/2を支援 ※緊急雇用基金を活用し(社)鳥取県物産協会に配置するアンテナショップコーディネーターが、催事出展者や販売商品の掘り起こし、催事の出展調整等を実施 ○広告宣伝、集客イベントの開催 ○アンテナショップ報告会の開催 県内事業者向けにアンテナショップで収集した情報等を報告	(11,223) 4,500 ----- 4,237 129
販路開拓	○「チャレンジ商品」の販売 県が「チャレンジ商品」として認定した小規模事業者が作った商品、ふるさと認証食品などを1ヶ月間、アンテナショップでテスト販売し、モニタリング調査 ※県東京本部に配置する首都圏販路開拓マネージャーが、アンテナショップと連携し、小売店・外食店等を訪問営業	(13,847) 5,442
店舗の魅力向上	○J.R新橋駅出口に設置の周辺案内図への広告掲出 ○アンテナショップ運営会議の開催	431 ----- 231
施設運営経費	○アンテナショップ入居ビル賃借料 ※運営事業者から物販店舗の売上げに係る納付金、レストラン部分の賃借料を収入	44,405
標準事務費		2,060
合 計		(76,563) 61,435

3 これまでの取組状況、改善点

(1) 情報受発信

- ・催事出展支援により、延べ64事業者・団体がアンテナショップ催事に出席し、首都圏の消費者ニーズを把握したり、今後の首都圏への営業戦略に活かしている事業者が多く見られる。
- ・約240件の雑誌、テレビ等で取り上げられ、県産品の認知度向上、PRに寄与(オープン～平成21年12月)
- ・アンテナショップが収集した情報を基に県内事業者が新商品開発、商品改良に取り組み

(2) 販路開拓

- ・33事業者・約70商品が、アンテナショップをきっかけに取扱いが決定又は商談中
- ・76事業者・165商品のチャレンジ商品がアンテナショップで販売(平成21年4月～12月)

[改善点]

首都圏での県産品の販路開拓をより一層促進させることを目的に緊急雇用基金を活用し、首都圏の小売店・外食店等への訪問営業、企業間マッチング支援、さらに県産食材の試食PR等を行う販路開拓マネージャーを新たに1名増員し、県東京本部に配置。((社)県物産協会に委託)